

## 表紙，奥付，目次

雑誌名	国立国語研究所論集
号	14
発行年	2018-01
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1328/00001427/">http://id.nii.ac.jp/1328/00001427/</a>

# 国立国語研究所論集

NINJAL Research Papers

14

2018年1月

January 2018

## 1. 刊行

国立国語研究所（以下、「研究所」という。）における研究活動の活性化と成果の公表及び所内若手研究者育成を目的として、『国立国語研究所論集』（英語名“NINJAL Research Papers”）を各年度に2回（7月と1月）発行する。

## 2. 投稿資格

投稿は次のいずれかに該当する者とする。ただし、共著の場合は第1著者が次のいずれかに該当すればよい。

(1) 研究所の研究教育職員・研究員

(2) 研究所の客員教員，非常勤研究員・プロジェクト研究員，外来研究員，共同研究プロジェクトに参画している共同研究員（外来研究員及び共同研究員が投稿する場合は，それぞれ，受入れ教員及び参画している共同研究プロジェクトのリーダーに相談の上，投稿申し込みを行うこと。）

(3) 研究所の名誉教授

(4) その他，国立国語研究所論集編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が認めた者

(注)上記(1)(2)に該当する者が退職または任期終了した場合は，その後5年間は投稿資格を有するものとする。

ただし，年度途中の退職または任期終了は，その年度末に発生したものとみなす。

3. 投稿時期 投稿原稿の締切は，毎年1月末日及び7月末日とする。

## 4. 論文内容

(1) 投稿は未公開のオリジナルな原稿に限る。他誌に投稿中の原稿は投稿できない。

(2) 研究所の設置目的に沿う内容なら，理論・記述・調査・実験等の手法や分析の枠組みは問わない。ただし，「2. 投稿資格」の(2)に該当する者が投稿する場合は，内容は研究所在職中の研究内容・成果に限るものに限る。

(3) 研究所の研究教育職員・研究員及び非常勤研究員・プロジェクト研究員が投稿する場合は，原則としてNINJALサロンで発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。また，共同研究員が投稿する場合は，原則として，参画している共同研究プロジェクトの研究発表会で発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。

(4) 共同研究員が投稿する場合は，論文の内容は，共同研究プロジェクトの研究内容及び研究成果であること。（後略）

(5) 外来研究員が投稿する場合は，論文の内容は，滞在期間中の研究題目に関する研究内容及び研究成果であること。（後略）

(6) 研究の中間報告，既発表論文のデータ補足的な報告も可とする。

5. 原稿のカテゴリー 「論文」のみとし，研究ノートや書評紹介は含めない。

6. 原稿の書式等（略）

7. 原稿提出方法（略）

## 8. 著作権

著者は，原稿を投稿する際に，以下を承諾したものとする。

- ・個々の論文の著作権は著者に帰属する。

- ・著者は，論文の複製権と公衆送信権の行使を研究所に許諾する。

- ・その他「国立国語研究所における編集著作物の取扱いについて」に定められている事項。

なお，他の著作物に掲載された図版の転載等にかかわる著作権処理，及びデータの利用・公開にかかわる関係者の許諾取得は，著者の責任において行うこと。

9. 採否 原稿の採否は，編集委員会が査読の上，決定する。

10. 校正（略） 11. 稿料（略） 12. 抜刷等（略）

「投稿・執筆要領」の全文および『国立国語研究所論集』オンライン版は、  
国立国語研究所ウェブサイトをご覧ください。

Please visit the NINJAL website. You can download (i) the entire text of the guidelines for  
manuscript submission and the style sheet, and (ii) full-text PDF files published in *NINJAL*  
*Research Papers*.

<http://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/>

編集委員会 Editorial Board \*委員長 Editor-in-chief

福永由佳 (FUKUNAGA Yuka)

井上文子 (INOUE Fumiko)

三井はるみ (MITSUI Harumi)

新野直哉 (NIINO Naoya)

山崎 誠 (YAMAZAKI Makoto)\*

## 国立国語研究所論集 第14号

NINJAL Research Papers No. 14

2018年1月31日 発行

編 集 国立国語研究所論集編集委員会

発 行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

TEL: 042(540)4300 (代表)

<http://www.ninjal.ac.jp/>

E-mail: [papers@ninjal.ac.jp](mailto:papers@ninjal.ac.jp) (編集委員会)

印刷所 中西印刷株式会社

- 南琉球宮古多良間方言におけるピッチ上昇  
——複数の韻律句が連続する場合のピッチパターンの記述—— 青井隼人
- 中国人日本語専攻生の学術コミュニティへの参加過程の分析  
——中国の大学から日本の大学院へ—— 黄 均鈞・霍 沁宇・田 佳月・胡 芸群
- 特徴的な要素と用例頻度の関係 ——角を例とした一考察—— 加藤 祥
- 明治・大正期の文語文における一人称代名詞の通時的变化  
——『日本語歴史コーパス 明治・大正編I雑誌』と『東洋学芸雑誌』を用いた分析—— 近藤明日子
- 「置換反復発話」におけるピッチパターンの再現可能性  
——Warner (1997) の追検討—— 松井真雪・ホワン ヒョンギョン
- 福井県坂井市三国町安島方言の三型アクセント ——付属語のアクセントと型の中和—— 松倉昂平
- 文章理解過程における日本語学習者の固有名詞の意味理解  
——文脈の手がかりに着目して—— 蒙 韞(韞)
- 竹富島『星砂の話』の絵本制作と一般読者向け文法概要の執筆 中川奈津子・山田真寛
- LINE での日本語母語話者からの誘いを非母語話者はどう断っているか  
——「再誘い」を誘発する要因とその背景にある意識—— 中井好男・船橋瑞貴・副田恵理子・向井裕樹
- なぜ「数量語+だけだ」は不自然になりやすいのか 中西久実子
- 次元形容詞はどんなときに使われるか ——日本語とスペイン語の対照研究—— 西内沙恵
- 研究資料室中央資料庫収蔵資料の公開に向けての取り組みと課題 関川雅彦・山口 亮
- 日本語接続詞の捉え方  
——ソレデ, ソシテ, ソレガ, ソレヲ, ソコデについて—— 竹内史郎・岡崎友子
- 日本語学習者の作文執筆修正過程  
——中国人学習者と韓国人学習者の修正の位置と種類の分析から—— 田中啓行・石黒 圭
- 『日本語日常会話コーパス』の構築  
——会話収録法に着目して—— 田中弥生・柏野和佳子・角田ゆかり・伝 康晴・小磯花絵
- 徳之島浅間方言のアクセント資料 (5) 上野善道
- 日本語ピア・リーディング授業における学習者の批判的思考の活性化 楊 秀娥

目 次 Contents

南琉球宮古多良間方言におけるピッチ上昇 ——複数の韻律句が連続する場合のピッチパターンの記述—— Pitch Rising in Miyako-Tarama Ryukyuan: Description of the Pitch Pattern in the Case of a Phrase Sequence	青井隼人 AOI Hayato	1
中国人日本語専攻生の学術コミュニティへの参加過程の分析 ——中国の大学から日本の大学院へ—— 黄 均鈞・霍 沁宇・田 佳月・胡 芸群 Analysis of a Chinese Japanese-Major Student's Participation in Academic Communities: From a Chinese University to the Graduate School of a Japanese University HUANG Junjun, HUO Qinyu, TIAN Jiayue and HU Yiqun		29
特徴的な要素と用例頻度の関係 ——角を例とした一考察—— Characteristic Elements of Words and Their Frequencies: The Case of <i>Tsuno</i> 'Horns'	加藤 祥 KATO Sachi	55
明治・大正期の文語文における一人称代名詞の通時的变化 ——『日本語歴史コーパス 明治・大正編 I 雑誌』と『東洋学芸雑誌』を用いた分析—— 近藤明日子 Diachronic Changes in First-Person Pronouns in Literary Style Text during the Meiji and Taisho Periods: Analysis of the "Corpus of Historical Japanese, Meiji Era / Taishō Era Series I: Magazines" and the "Toyo Gakugei Zasshi"	KONDO Asuko	73
「置換反復発話」におけるピッチパタンの再現可能性 ——Warner (1997) の追検討—— 松井真雪・ホワン ヒョンギョン On the Replicability of Pitch Patterns in "Reiterant Speech": A Complementary Study to Warner (1997)	MATSUI Mayuki and HWANG Hyun Kyung	89
福井県坂井市三国町安島方言の三型アクセント ——付属語のアクセントと型の中和—— The Three-pattern Accent System of the Antoh Dialect of Fukui Prefecture: Accentual Behavior of Particles and Accent Neutralization	松倉昂平 MATSUKURA Kohei	99

文章理解過程における日本語学習者の固有名詞の意味理解 ——文脈の手がかりに着目して——	蒙 韞 (韞)	
Understanding the Meanings of Proper Nouns by JSL and JFL Learners during Passage Comprehension Processing: Focusing on Contextual Clues	MENG Yun	125
竹富島『星砂の話』の絵本制作と一般読者向け文法概要の執筆	中川奈津子・山田真寛	
Making the Picture Book <i>A Tale of Star Sand</i> in Taketomi and Writing a Grammar Sketch for a General Audience	NAKAGAWA Natsuko and YAMADA Masahiro	145
LINE での日本語母語話者からの誘いを非母語話者はどう断っているか ——「再誘い」を誘発する要因とその背景にある意識——	中井好男・船橋瑞貴・副田恵理子・向井裕樹	
Why Does a Non-native Speaker's Refusal of an Invitation from a Native Speaker on LINE Lead to Re-invitation?: Exploring the Problems of Non-native Speakers	NAKAI Yoshio, FUNAHASHI Mizuki, SOEDA Eriko and MUKAI Yuki	169
なぜ「数量語 + だけだ」は不自然になりやすいのか	中西久実子	
Why "Quantifier + <i>dakeda</i> " Tends to Be Pragmatically Impermissible?	NAKANISHI Kumiko	193
次元形容詞はどんなときに使われるか ——日本語とスペイン語の対照研究——	西内沙恵	
Dimensional Adjectives in Spanish and Japanese: Comparing the Use of <i>alto</i> and <i>takai</i>	NISHIUCHI Sae	209
研究資料室中央資料庫収蔵資料の公開に向けての取り組みと課題	関川雅彦・山口 亮	
An Approach and Issue for the Public Opening of Research Materials in the National Institute for Japanese Language and Linguistics	SEKIKAWA Masahiko and YAMAGUCHI Ryo	231
日本語接続詞の捉え方 ——ソレデ、ソシテ、ソレガ、ソレヲ、ソコデについて——	竹内史郎・岡崎友子	
Connectives that Consist of <i>so-</i> and Other Elements in Japanese: <i>sorede, sosite, sorega, soreo, sokode</i>	TAKEUCHI Shiro and OKAZAKI Tomoko	241

日本語学習者の作文執筆修正過程

——中国人学習者と韓国人学習者の修正の位置と種類の分析から——

田中啓行・石黒 圭

The Writing Revision Process by Learners of Japanese:

An Analysis of Position and Type of Revision by Chinese and Korean Learners

TANAKA Hiroyuki and ISHIGURO Kei 255

---

『日本語日常会話コーパス』の構築

——会話収録法に着目して——

田中弥生・柏野和佳子・角田ゆかり・伝 康晴・小磯花絵

Construction of the *Corpus of Everyday Japanese Conversation*:

On the Methodology of Recording Everyday Conversation

TANAKA Yayoi, KASHINO Wakako, SUMIDA Yukari, DEN Yasuharu and KOISO Hanae 275

---

徳之島浅間方言のアクセント資料 (5)

上野善道

Accent Data from the Asama Dialect in Tokunoshima, Amami: Part 5

UWANO Zendo 293

---

日本語ピア・リーディング授業における学習者の批判的思考の活性化

楊 秀娥

The Activation of Japanese Learners' Critical Thinking in a Japanese Peer Reading Course

YANG Xiue 323

---